

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

上場会社名 西日本鉄道株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 9031 URL <http://www.nishitetsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 倉富 純男
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部広報課長 (氏名) 川上 哲平 (TEL) 092-734-1217
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	151,205	△20.6	△11,214	—	△13,218	—	△10,969	—
2020年3月期第2四半期	190,496	1.8	8,873	△6.4	8,081	△12.9	3,869	198.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △11,636百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 2,878百万円(102.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△139.26	—
2020年3月期第2四半期	49.08	48.90

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	667,739	167,445	24.2
2020年3月期	667,150	180,549	26.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 161,801百万円 2020年3月期 174,887百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2021年3月期	—	12.50	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,200	△15.2	△14,500	—	△18,000	—	△16,000	—	△203.12

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	79,360,186株	2020年3月期	79,360,186株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	579,367株	2020年3月期	597,513株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	78,771,175株	2020年3月期2Q	78,838,593株

（注）自己株式数については、役員向け株式給付信託に残存する当社株式（2021年3月期2Q：211,219株、2020年3月期：229,735株）を含めて記載しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（企業結合に係る暫定的な会計処理の確定について）

前第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第2四半期連結累計期間については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しは反映された後の金額を開示しています。詳細につきましては添付資料13ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（企業結合等関係）」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報)	12
(企業結合等関係)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
営業収益	190,496	151,205	△39,291	△20.6%
営業利益又は 営業損失(△)	8,873	△11,214	△20,087	—
経常利益又は 経常損失(△)	8,081	△13,218	△21,299	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	3,869	△10,969	△14,838	—

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や国内外の移動の制限等を受けて、運輸業やレジャー・サービス業を中心に多くの業種で減収となり1,512億5百万円（前年同期比20.6%減）となりました。

この結果、営業損失は112億1千4百万円（前年同期は営業利益88億7千3百万円）となりました。

経常損失は、持分法適用会社である福岡国際空港(株)における持分法による投資損失の増加などもあり132億1千8百万円（前年同期は経常利益80億8千1百万円）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失は109億6千9百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益38億6千9百万円）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

第1四半期連結会計期間の期首に、会社分割を伴う連結子会社の組織再編等を実施し、親会社及び一部連結子会社において、セグメントの区分を変更しています。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、当該変更後の区分に基づき作成したものを開示しています。

また、前第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額を開示しています。

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益又は営業損失(△)			
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
運輸業	44,720	26,931	△17,789	△39.8%	3,003	△8,374	△11,377	—
不動産業	28,727	23,878	△4,849	△16.9%	3,081	1,952	△1,128	△36.6%
流通業	38,910	37,061	△1,848	△4.8%	250	922	671	268.1%
物流業	50,076	48,959	△1,116	△2.2%	1,396	1,241	△155	△11.1%
レジャー・サービス業	22,770	8,903	△13,866	△60.9%	1,272	△6,732	△8,005	—
小計	185,204	145,734	△39,470	△21.3%	9,004	△10,990	△19,995	—
その他	19,876	16,433	△3,442	△17.3%	145	△1	△147	—
調整額	△14,585	△10,963	3,622	—	△277	△222	55	—
連結	190,496	151,205	△39,291	△20.6%	8,873	△11,214	△20,087	—

①運輸業

鉄道事業及びバス事業では、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛、店舗の一時休業やイベントの中止・縮小などを受けて旅客人員が減少し減収となりました。その結果、運輸業の営業収益は269億3千1百万円（前年同期比 39.8%減）、営業損失は83億7千4百万円（前年同期は営業利益30億3百万円）となりました。

なお、旅客人員は鉄道事業で 31.0%減（前年同期比）、バス事業（乗合）で 32.4%減（前年同期比）となりました。

②不動産業

賃貸事業では、「福ビル街区建替プロジェクト」の進捗に伴う天神コアビル等の閉館、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や商業施設の一時休業などにより減収となりました。また、住宅事業では、分譲販売区画数が減少し減収となりました。これらの結果、不動産業の営業収益は238億7千8百万円（前年同期比 16.9%減）、営業利益は19億5千2百万円（前年同期比 36.6%減）となりました。

なお、分譲販売区画数は190区画（前年同期比 47区画減）となりました。

③流通業

ストア事業では、巣ごもり消費拡大による客単価の上昇の一方、外出自粛により客数が減少し減収となりました。また、生活雑貨販売業では、新型コロナウイルス感染症の影響による一時休業などにより来店者数が減少し減収となりました。これらの結果、流通業の営業収益は370億6千1百万円（前年同期比 4.8%減）、営業利益はストア事業での販促費の減少などにより9億2千2百万円（前年同期比 268.1%増）となりました。

④物流業

国際物流事業では、新型コロナウイルス感染症の影響等による輸出入取扱高の減少などにより減収となりました。また、国内物流事業では、感染症の影響により自動車関連部品などの貨物取扱高が減少し減収となりました。これらの結果、物流業の営業収益は489億5千9百万円（前年同期比 2.2%減）、営業利益は12億4千1百万円（前年同期比 11.1%減）となりました。

国際貨物取扱高は、航空輸出で 23.4%減（前年同期比）、航空輸入で 18.2%減（前年同期比）、海運輸出で 18.1%減（前年同期比）、海運輸入で 8.8%減（前年同期比）となりました。

⑤レジャー・サービス業

ホテル事業では、新型コロナウイルス感染症の影響による海外からの移動の制限や国内での移動自粛などを受けて稼働が低迷し減収となりました。旅行事業においても、感染症の影響により国内外の旅行客が減少し減収となりました。これらの結果、レジャー・サービス業の営業収益は89億3百万円（前年同期比 60.9%減）、営業損失は67億3千2百万円（前年同期は営業利益12億7千2百万円）となりました。

⑥その他

建設関連事業での完成工事高の減少などにより、その他の営業収益は164億3千3百万円（前年同期比 17.3%減）、営業損失は1百万円（前年同期は営業利益1億4千5百万円）となりました。

(セグメント別損益概況)

(単位:百万円、単位未満は切捨て)

	営業収益				営業利益又は営業損失(△)			
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率(%)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率(%)
運輸業	44,720	26,931	△17,789	△39.8	3,003	△8,374	△11,377	-
鉄道事業	11,735	7,330	△4,404	△37.5	1,675	△1,538	△3,214	-
バス事業	30,841	18,304	△12,537	△40.7	1,336	△6,187	△7,523	-
(バス事業実質)※1	(28,816)	(16,717)	(△12,099)	(△42.0)	-	-	-	-
他	7,420	5,492	△1,927	△26.0	△38	△660	△622	-
調整額	△5,276	△4,196	1,080	-	29	12	△16	-
不動産業	28,727	23,878	△4,849	△16.9	3,081	1,952	△1,128	△36.6
賃貸事業	13,242	10,907	△2,335	△17.6	3,386	2,537	△848	△25.1
住宅事業	11,003	8,931	△2,071	△18.8	△498	△704	△206	-
他	6,169	5,677	△491	△8.0	213	117	△95	△44.9
調整額	△1,688	△1,638	50	-	△20	2	22	-
流通業	38,910	37,061	△1,848	△4.8	250	922	671	268.1
ストア事業	36,384	35,246	△1,137	△3.1	191	986	794	413.9
生活雑貨販売業	2,526	1,815	△710	△28.1	111	△24	△136	-
調整額	-	△0	△0	-	△52	△38	14	-
物流業	50,076	48,959	△1,116	△2.2	1,396	1,241	△155	△11.1
国際物流事業	50,700	49,653	△1,046	△2.1	1,428	1,428	△0	△0.0
国内物流事業	5,334	4,839	△495	△9.3	85	△11	△97	-
調整額	△5,959	△5,533	426	-	△117	△175	△57	-
レジャー・サービス業	22,770	8,903	△13,866	△60.9	1,272	△6,732	△8,005	-
ホテル事業	16,965	6,101	△10,863	△64.0	571	△4,701	△5,272	-
(ホテル事業実質)※2	(10,531)	(2,237)	(△8,294)	(△78.8)	-	-	-	-
旅行事業	1,791	269	△1,521	△85.0	△28	△1,103	△1,075	-
娯楽事業	2,730	1,549	△1,181	△43.3	412	△217	△630	-
他	8,587	5,389	△3,197	△37.2	190	△671	△861	-
調整額	△7,304	△4,406	2,897	-	126	△39	△165	-
小計	185,204	145,734	△39,470	△21.3	9,004	△10,990	△19,995	-
その他	19,876	16,433	△3,442	△17.3	145	△1	△147	-
調整額	△14,585	△10,963	3,622	-	△277	△222	55	-
連結	190,496	151,205	△39,291	△20.6	8,873	△11,214	△20,087	-

※1 バス事業の営業収益は内部取引を除くと42.0%の減となります。

※2 ホテル事業の営業収益は内部取引を除くと78.8%の減となります。

(数量等)

①鉄道旅客人員・旅客収入(運輸業)

	単位	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
旅客人員	千人	57,679	39,773	△17,906	△31.0
定期外	千人	25,671	14,545	△11,126	△43.3
定期	千人	32,008	25,228	△6,780	△21.2
旅客収入	百万円	11,141	6,949	△4,191	△37.6
定期外	百万円	6,904	3,615	△3,288	△47.6
定期	百万円	4,237	3,333	△903	△21.3

②乗合バス旅客人員・旅客収入(運輸業)

	単位	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
旅客人員	千人	138,185	93,390	△44,795	△32.4
定期外	千人	76,727	46,057	△30,670	△40.0
定期	千人	61,458	47,333	△14,125	△23.0
旅客収入	百万円	25,014	14,549	△10,465	△41.8
定期外	百万円	18,466	9,475	△8,990	△48.7
定期	百万円	6,548	5,073	△1,474	△22.5

③分譲販売区画数(不動産業)

	単位	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
分譲販売区画数	区画	237	190	△47	△19.8
マンション	戸	125	106	△19	△15.2
戸建	区画	102	74	△28	△27.5
リノベーション	戸	10	10	-	-

④国際貨物取扱高(物流業)

	単位	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
航空輸出	千トン	69	52	△16	△23.4
航空輸入	千件	213	174	△38	△18.2
海運輸出	千TEU	46	37	△8	△18.1
海運輸入	千TEU	58	53	△5	△8.8

⑤国内宿泊主体型ホテル客室単価、稼働率、Rev PAR(レジャー・サービス業)

	単位	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
客室単価	円	9,920	7,584	△2,336	△23.5
稼働率	%	76.8	17.6	△59.2	-
Rev PAR	円	7,616	1,334	△6,282	△82.5

(新型コロナウイルス感染症による影響額 概算値 [営業利益又は営業損失(△)])

(単位:億円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	うち新型コロナウイルス感染症による影響額	
運輸業	30	△84	△114	△132	運輸収入減
不動産業	31	20	△11	△11	商業施設歩合賃料収入減
流通業	3	9	7	△1	生活雑貨販売業売上減
物流業	14	12	△2	△5	輸出入取扱減
レジャー・サービス業	13	△67	△80	△82	ホテル宿泊収入減、 旅行商品収入減
小計	90	△110	△200	△231	
その他	1	△0	△1	△4	ICカード交通利用減
調整額	△3	△2	1	-	
営業利益又は営業損失(△)	89	△112	△201	△234	

※ 新型コロナウイルス感染症による影響額には、同影響に伴い実施したコスト削減額を含めています。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間末	増減
資産合計	667,150	667,739	588
負債合計	486,600	500,293	13,692
純資産合計	180,549	167,445	△13,104
有利子負債	285,279	328,825	43,545

(注)有利子負債は、借入金 + コマーシャル・ペーパー + 社債により算出しています。

資産は、受取手形及び売掛金が減少した一方、現金及び預金や販売土地及び建物の増加等により、前連結会計年度末に比べ5億8千8百万円増加し、6,677億3千9百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が減少した一方、有利子負債の増加等により、前連結会計年度末に比べ136億9千2百万円増加し、5,002億9千3百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等による利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ131億4百万円減少し、1,674億4千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大が業績に与える影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報をもとに一定の前提を置き業績予想を算出しました。

詳細につきましては、本日(2020年11月12日)公表いたしました「業績予想、剰余金の配当(中間配当)および配当予想ならびに役員報酬の減額に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,205	44,942
受取手形及び売掛金	49,140	30,578
販売土地及び建物	56,558	61,162
商品及び製品	4,833	3,954
仕掛品	869	1,755
原材料及び貯蔵品	2,053	2,161
その他	10,717	12,049
貸倒引当金	△100	△114
流動資産合計	158,275	156,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	178,502	187,043
機械装置及び運搬具（純額）	21,970	19,404
土地	133,168	132,470
建設仮勘定	86,155	82,528
その他（純額）	8,297	7,884
有形固定資産合計	428,094	429,331
無形固定資産		
のれん	828	670
その他	5,122	4,692
無形固定資産合計	5,951	5,362
投資その他の資産		
投資有価証券	47,559	44,660
退職給付に係る資産	3,264	3,359
繰延税金資産	11,329	14,340
その他	13,074	14,596
貸倒引当金	△399	△400
投資その他の資産合計	74,828	76,555
固定資産合計	508,874	511,250
資産合計	667,150	667,739

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,514	25,072
短期借入金	46,545	41,630
コマーシャル・ペーパー	-	5,000
1年内償還予定の社債	7,000	-
未払消費税等	2,418	899
未払法人税等	688	646
前受金	60,152	62,574
賞与引当金	5,409	4,430
その他の引当金	264	143
その他	21,537	22,213
流動負債合計	199,531	162,611
固定負債		
社債	102,000	122,000
長期借入金	129,734	160,194
繰延税金負債	1,004	958
その他の引当金	780	714
退職給付に係る負債	24,739	24,983
長期預り保証金	24,648	24,999
その他	4,161	3,831
固定負債合計	287,069	337,681
負債合計	486,600	500,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,157	26,157
資本剰余金	12,622	12,622
利益剰余金	134,548	122,195
自己株式	△1,259	△1,217
株主資本合計	172,067	159,757
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,051	5,846
繰延ヘッジ損益	△1,653	△1,716
為替換算調整勘定	△343	△915
退職給付に係る調整累計額	△1,234	△1,170
その他の包括利益累計額合計	2,820	2,044
新株予約権	444	443
非支配株主持分	5,216	5,200
純資産合計	180,549	167,445
負債純資産合計	667,150	667,739

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業収益	190,496	151,205
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	165,789	147,901
販売費及び一般管理費	15,833	14,517
営業費合計	181,623	162,419
営業利益又は営業損失(△)	8,873	△11,214
営業外収益		
受取利息	25	18
受取配当金	445	447
雇用調整助成金	-	1,044
雑収入	550	715
営業外収益合計	1,021	2,225
営業外費用		
支払利息	846	964
持分法による投資損失	743	3,035
雑支出	223	229
営業外費用合計	1,813	4,229
経常利益又は経常損失(△)	8,081	△13,218
特別利益		
固定資産売却益	62	0
受託工事金受入額	1	-
工事負担金等受入額	496	96
投資有価証券売却益	0	1,271
その他	25	-
特別利益合計	585	1,368
特別損失		
固定資産圧縮損	471	90
固定資産除却損	393	-
減損損失	106	619
福ビル街区建替関連費用	679	597
その他	30	3
特別損失合計	1,680	1,311
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	6,986	△13,160
法人税、住民税及び事業税	2,368	629
法人税等調整額	502	△2,993
法人税等合計	2,871	△2,364
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,114	△10,796
非支配株主に帰属する四半期純利益	245	173
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	3,869	△10,969

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,114	△10,796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△635	△204
繰延ヘッジ損益	2	△1
為替換算調整勘定	△342	△428
退職給付に係る調整額	191	63
持分法適用会社に対する持分相当額	△452	△269
その他の包括利益合計	△1,235	△839
四半期包括利益	2,878	△11,636
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,648	△11,745
非支配株主に係る四半期包括利益	230	109

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	運輸業	不動産業	流通業	物流業	レジャー・ サービス業	計			
営業収益	44,720	28,727	38,910	50,076	22,770	185,204	19,876	△14,585	190,496
セグメント利益	3,003	3,081	250	1,396	1,272	9,004	145	△277	8,873

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ICカード事業、車両整備関連事業、建設関連事業及び金属リサイクル事業を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額△277百万円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理費△340百万円及びセグメント間取引消去額62百万円です。
3. 上記のセグメント情報は、連結子会社の組織再編等に伴い変更後の区分に基づき作成したものを開示していません。
4. 上記のセグメント情報は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額を開示していません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	運輸業	不動産業	流通業	物流業	レジャー・ サービス業	計			
営業収益	26,931	23,878	37,061	48,959	8,903	145,734	16,433	△10,963	151,205
セグメント利益 又は損失(△)	△8,374	1,952	922	1,241	△6,732	△10,990	△1	△222	△11,214

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ICカード事業、車両整備関連事業、建設関連事業及び金属リサイクル事業を含んでいます。
2. セグメント利益又は損失の調整額△222百万円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理費△489百万円及びセグメント間取引消去額266百万円です。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間の期首に、グループ経営の更なる効率化を図るため、会社分割を伴う組織再編を実施いたしました。この組織再編に伴って、「レジャー・サービス業」セグメントの(株)交通広告サービスは、一部組織を「その他」セグメントの西鉄エム・テック(株)へ移管し、「運輸業」セグメントの(株)西鉄ステーションサービスへ吸収合併を行いました。

また、第1四半期連結会計期間より、賃貸物件の管理一本化による業務効率化及び収益力の拡大を図るため、従来「運輸業」セグメントに含めていた親会社の鉄道事業の賃貸物件管理運営業務について、セグメント区分を見直し、「不動産業」セグメントへ変更いたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、当該変更後の区分に基づき作成したものを開示していません。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2018年10月9日に行われたNNR GLOBAL LOGISTICS FRANCE SASの株式取得による企業結合について、2019年3月期連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、前第3四半期連結会計期間に確定しています。

これに伴い、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、無形固定資産「その他」（顧客関連資産）に240百万円（償却期間10年）、繰延税金負債に60百万円等を配分した結果、暫定的に算定されたのれんの金額574百万円は、410百万円となっています。

また、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、無形固定資産の減価償却費が増加したこと等により、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3百万円減少しましたが、法人税等調整額が2百万円減少したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は0百万円減少しています。